

就業目標は

1000人

高齢者の
新規就業者数メーター
平成29年4月から9月末まで
887人
1000人達成まであと813人
(ハローワーク総社調べ)

高齢者がいつまでも活躍できる社会を目指す

高齢者の就労支援などを行う窓口「そうじや60歳からの人生設計所」が開設1周年を迎えたことを記念して、「地域の支え合いフォーラム2017 in そうじや」を開催します。

フォーラムの第1部は、市へ期待する市民の声をまとめた動画の上映と、倉敷芸術科学大学の濱家輝雄学長補佐による基調講演。第2部は、美作大学生活科学部の小坂田稔教授を交えて、市民参加型活動報告会

を行います。地域や行政機関などが一体となって「支え合う仕組み」が求められている今、地域の一員として、何ができるかを一緒に考えてみませんか。



日時 12月9日(土)、午後1時30分から4時まで
場所 総合福祉センター
定員 250人
申込方法 市生涯現役促進協議会(長寿介護課内)と市社会福祉協議会に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、ファクシミリか電話で申し込む
申込期限 12月4日(月)
申込先・問い合わせ 市生涯現役促進協議会(☎②8376、Fax②8385)

就業者の声



農マル園芸吉備路農園に就職した
日向 宏江さん(63)

5月から農マル園芸吉備路農園に就職しました。週3日、1日あたり1時間、清掃に従事しています。39年間務めた事務職員を辞めた後、「社会に参加し、役に立てたら」との思いから、60歳からの人生設計所に電話。野菜づくりや習い事などをしているため、それに合わせた職業を担当者が紹介してくれました。早起きして仕事をする、リフレッシュできます。友人から表情が良くなったと言われました。

消費生活 ワンポイントアドバイス

「不用品を買い取ります」の電話にご用心!

「古着・陶器・靴など不用品を買い取る」と女性から電話があり訪問を了承。不用品を準備すると男性が来訪し、「不用品ではなく、貴金属はないか」と言われました。電話での説明と違い戸惑いましたが、家の中に通して断りにくく、貴金属を見せました。結局、不用品ではなく貴金属のみ買い取られました。最初から貴金属が目的だったのではないのでしょうか。

承諾していない売却を迫られたら、きっぱり断りましょう

貴金属が目的だった可能性が高いです。訪問してきた業者がしつこく貴金属を要求し、怖くて断れなかったという相談があります。契約書面の交付を受けた日から8日間はクーリングオフできますが、いったん業者に渡ってしまった貴金属は、取り戻すことが困難な場合があります。本当に買い取ってもらう必要があるか、冷静に考えてから契約しましょう。

消費生活相談員からの ワンポイントアドバイス

- 突然訪問して来た業者は家に入れない
- 買い取りを依頼するときは、信頼できる業者を自分で調べる
- 購入業者から交付された書面をしっかりと確認する



不安に感じたり対処に困ったら、市消費生活センターにご相談ください。

問い合わせ
市消費生活センター(☎②8527、交通政策課内)

総社賞 (市政功労者表彰)

表彰

教育委員会表彰

11月3日の文化の日に、総社賞(市政功労者表彰)として大月亮さん(号：壺青)さんを表彰しました。

総社賞



地域防災の発展に尽力
大月亮さん(日羽)

(広報そうじや平成29年7月号
25ページで紹介)

昭和36年1月、旧吉備郡昭和町消防団員に任命。平成13年4月、市消防団長に就任されました。消防団幹部としての28年間、地域防災のリーダーの責務を自覚し、団幹部や団員との融和・地域の防火防災の任に率先してあたってこれ、56年の長きにわたり市民の生命・身体・財産の保護に努められました。また、女性消防団員の採用について、市や各分団に対して積極的に協力を求め、市では初となる女性消防団員が誕生。高齢者家庭の防火診断など、市民へのきめ細やかな対応につながっています。

教育委員会表彰

洋画の振興活動に寄与

待鳥一成さん(溝口)



(広報そうじや平成29年9月号
輝いている人のコーナーで紹介)

昭和46年に二科展初入選、昭和51年にフランス・ル・サロン展に入選。以降、新美術協会展、ミレー友好協会展などで数多くの賞を受賞しています。ミレー友好協会展では、国内展・フランス本部展の双方で受賞し、今年の第25回展において内閣総理大臣賞を受賞しました。第13回西湖芸術博覧会展では、三潭印月賞を受賞するなど、日本、フランス、中国を中心に国際的に活躍されています。平成13年には、倉敷市立美術館で個展を開催。地元での文化振興活動にも大きく寄与されています。

水墨画・墨彩画の普及に貢献

枝松國明さん(下原)



(広報そうじや平成22年6月号
輝いている人のコーナーで紹介)

長年教師として勤め、定年退職後に独学で墨彩画を始められました。平成13年に、ミレー友好協会展初入選。以後、同展に15年連続で出品し、平成23年には内閣総理大臣賞、フランス優秀芸術家賞、タイ赤十字文化功労賞を受賞するなど、墨彩画の分野において国際的に活躍しています。平成13年からは、市内の小中学校で児童・生徒に水墨画を教え、水墨画愛好さわらび会の名誉会長を務めるなど、後進の指導にもあたり、水墨画・墨彩画の普及に多大な貢献をされています。